

令和2年度 学校評価計画書

海田町立海田小学校

海田町学校教育施策の方針

「夢を持ち、夢を語ることのできる」児童生徒の育成

学校教育目標

「夢を温め自ら伸びる」

目指す児童像

豊かに表現する子

思いやりのある子

たくましく生きる子

現状の分析

知

- ・1月の標準学力調査(CRT)において、全学年・全項目で全国平均を上回った。
- ・あらゆる教科で音読・多読を取り入れ、長文も集中して読み続けられるようになりつつある。
- ・読書時間の確保に努め、様々な種類の本に触れることが出来た。また、教職員による読み聞かせで読書の楽しさを高めた。
- ・授業づくりの視点として「見通し」「協働」「振り返り」を共有し、主体的で学びのある授業に本年度も継続して取り組む。

徳

- ・挨拶においては、「あいさつ広げ隊」の浸透とともに児童の主体性が育ってきている。しかし、地域や来客者等への臨機応変な挨拶は、さらに高めていく必要がある。
- ・授業開始時刻に準備物が用意できていないなど、時間を大切にできなかったり、待っている人がいることを意識できなかったりする児童がいる。

体

- ・体育の研究授業を行い、体育の授業力向上を図った。
- ・体育朝会で運動・遊びの紹介をし、学年学級タイムや大休憩に進んで運動に取り組み、運動好きな児童の育成を図った。
- ・運動チャレンジカードや体力アップ貯金カードで体力作りの啓発をした。
- ・欠席0の児童を学期ごとに紹介した結果、学校を休まない意識は高まった。

本年度重点目標

★確かな学力の定着

- ・条件に合わせて書く活動
- ・読書活動の充実
- ・資質・能力の育成
- ・主体的な学びのある授業づくり

★豊かな心の育成

- ・気持ちの良いあいさつをしようとする心の育成
- ・人や時間を大切にしようとする心の育成

★体力・耐力の育成

- ・進んで体力を高める児童の育成
- ・元気に学校へ来ることができる児童の育成

★働き方改革

- ・教育の質の向上を目指した業務改善

評価項目

○確かな学力の定着

- ①条件に合わせて書く活動を取り入れた主体的な学びのある授業づくり
- ②学力の基礎となる読書活動の充実
- ③個別指導・確かな学力の充実
⇒基礎問題通過率60%未満の児童を0に近づける。

○豊かな心の育成

- ①気持ちの良いあいさつをする。
⇒あいさつ広げ隊の発展。「児童主体」「児童発信」をテーマに取り組み、主体性、相手意識をもち人を大切にする心を育成する。
- ②次の授業の準備をしてから休憩する。
⇒時間を大切にできる心、待つ人を思いやる心、決まりを守る意識、見通しをもって行動する力を育成する。

○体力・耐力の育成

- ①体育科の授業の始めに、縄跳びやサーキット運動に取り組む。
外遊び時間の縄跳びの奨励、縄跳びなどの運動の良さを紹介。
- ②生活リズムカレンダーの効果的な活用、感染症予防の取組、手洗いの徹底。

○働き方改革

- ①業務改善、環境整備
- ②週1回定時退校、時間外勤務の削減